

2020年度（令和2年度）

事業計画書

社会福祉法人 手稲ロータス会

目 次

社会福祉法人 手稲ロータス会	
社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念	2
法人本部	
手稲ロータス会 法人本部	4
特養手稲	
職員内部研修計画	6
介護老人福祉施設 手稲ロータス	8
各種会議・委員会	10
年間行事予定	10
年間行事予算	11
老健手稲・居宅手稲・手稲通所介護・グループホーム	
職員内部研修計画	13
介護老人保健施設 手稲あんじゅ	16
各種会議・委員会	17
年間行事予定	17
年間行事予算	18
手稲あんじゅ（介護予防）通所リハビリテーション事業所	19
年間会議予定	20
年間行事予算	20
手稲あんじゅ（介護予防）訪問リハビリテーション事業所	21
手稲あんじゅ指定居宅介護支援事業所	23
手稲あんじゅ（介護予防）訪問介護事業所	24
手稲あんじゅ居宅介護事業所・	
札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置	25
年間会議予定	26
介護予防普及啓発事業予定・予算	26
手稲ロータス（介護予防）通所介護事業所	28
年間会議予定	29
年間行事予算	29
（介護予防）認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう	31
年間会議予定	32
年間行事予算	32
特養音更	
職員内部研修計画	34
介護老人福祉施設 ロータス音更	36
各種会議・委員会	37
年間行事予定	37
年間行事予算	39

ロータス音更（介護予防）通所介護事業所（標準型・認知症型）	40
年間会議予定（標準型）	41
年間行事予算（標準型）	41
年間会議予定（認知症型）	42
年間行事予算（認知症型）	42
音更町地域包括支援センター ロータス音更	44
あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所	45

老健音更

職員内部研修計画	47
老人保健施設 あんじゅ音更	49
各種会議・委員会	50
年間行事予定	50
年間行事予算	51
あんじゅ音更（介護予防）通所リハビリテーション事業所	52
年間会議予定	53
年間行事予算	53
あんじゅ音更（介護予防）訪問リハビリテーション事業所	54

社会福祉法人 手稲ロータス会

社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念

「手稲ロータス会」は4つの笑顔を大切にします

ご利用者様の笑顔、ご家族様の笑顔、地域の皆様の笑顔、そして私たち職員
の笑顔です

清浄な花を咲かせる「ロータス(蓮)」の名にふさわしい、明るい笑顔とこま
やかな思いやりに満ちた介護事業を目指します

基本方針

○ご利用者様の笑顔のために

- ・一人ひとりの尊厳を大切にし、地域の中で自立した生活を目指します
- ・安全で安心できる良好な生活療養環境の実現を目指します

○ご家族様の笑顔のために

- ・ご家族様とご利用者様のコミュニケーションが保たれ、交流が深まるように努めます
- ・ご家族様の介護負担の軽減が図られるように支援します

○地域の皆様の笑顔のために

- ・介護予防の知識や介護への意識の普及啓発に努めます
- ・地域の皆様との交流、ボランティアの受入、施設開放等に努め地域と共に歩みます
- ・地域の関係機関、事業所と連携協働し、地域と一体になったケアを担います
- ・環境にやさしい施設運営を目指します

○職員の笑顔のために

- ・意欲を持って、安心して働ける職場環境を目指します
- ・職員それぞれの職務の専門性向上のために支援します

手 稲 口 一 夕 会 法 人 本 部 事 務 局

手稲ロータス会 法人本部

我が国の介護事業は法によって規制されているため、都度の法改正の影響が大きく、将来の不確実性が高い。しかし、2025年には戦後生まれの“団塊の世代”が後期高齢期(75歳)に到達するため、要介護認定率が確実に増加していく。

このようなことから、国は、地域福祉の推進にあっては“在宅”を軸とする方向であり、その要となる「地域包括ケアシステム」を推進している。

当法人としても、今後需要が増大するであろう“在宅福祉”分野への対応と充実を図るために、組織体制の強化に取り組む。

《重点推進課題》

1. 法人組織の体制強化に取り組む

【指標・評価方法】

- ①新たな組織体制の構築をめざす

2. 介護職員初任者研修事業の実施をめざす

平成30年2月より、社会福祉法人ほくろう福祉協会が行う介護職員初任者研修に対して当法人から職員を講師として派遣してきた。今後は、当法人が介護職員初任者研修指定事業者となり、法人職員を含めた研修を実施できるよう取り組む。

【指標・評価方法】

- ①2020年度内で指定を受けることを目標とする

特 養 手 稻

職員内部研修計画

(手稲ロータス)

実施月	研修内容	講師等
4月	接遇に関する研修	外部講師
5月	看取り介護に関する研修	音更特養の看取り士
6月	緊急時の対応に関する研修	施設内外の講師
7月	ユニットケアに関する研修、食中毒の予防に関する研修	外部講師、管理栄養士
8月	認知症ケアに関する研修	外部講師
9月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修	身体的拘束廃止・虐待防止委員会
10月	事故発生又は再発防止に関する研修	事故防止・苦情検討委員会
11月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修	感染症予防委員会
12月	非常災害時の対応に関する研修	施設内外の講師
1月	褥瘡予防に関する研修	褥瘡予防対策委員会
2月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修	身体的拘束廃止・虐待防止委員会
3月	事故発生又は再発防止に関する研修	事故防止・苦情検討委員会
その他	新入職員研修	施設長、事務長ほか各専門職
	食事や排せつなどの介護技術に関する研修	施設内外の講師
	法令遵守（プライバシーの保護など）の取組みに関する研修	施設内外の講師
	食事形態に関する研修（試食）	管理栄養士

介護老人福祉施設 手稲口一タス

介護老人福祉施設 手稲ロータス

入居者様に日常生活を笑顔で過ごしていただけるよう、一人ひとりの想いに寄り添いつつ、入居者様ファーストとなるケアを一層促進する。

また、ご家族様に安心感と信頼感を持っていただけるよう、ご家族様の「願い」や「想い」を職員が共有できる関係づくりに努めるとともに、入居者様とご家族様が一緒に時間を過ごすことができる機会をより多く企画する。

さらに、地域住民との交流を一層深めるなど、地域活性化のための新たな活動拠点となることを目指した施設づくりを進めるとともに、職員自らが成長を感じながら、高い意識と強い意欲を持ってスキルアップを目指す、働きやすい職場環境の整備に努める。

《重点推進課題》

1. 入居者様一人ひとりに寄り添い、笑顔のあふれる環境づくりを目指す

入居者様一人ひとりの生活リズムなどが尊重される入居者様主体のユニットケアを一層促進しながら、それぞれの専門職が入居者様のご意向や想いに寄り添い、入居者様が心地良く生活できる、笑顔あふれる環境をつくっていく。

【指標・評価方法】

入居者様一人ひとりのご意向や生活リズムなどが反映されるユニットケアを実践するため「24時間シート」などを活用するほか、各専門職の専門性をより活かしていくため、入居者様に関する様々な情報を相互に共有できる環境づくりをさらに進めていく。

また、入居者様が持っている能力を可能な限り保ち続けられるよう、褥瘡予防や誤嚥予防のためのケアなどにより、身体状況の確保に努める。

さらに、入居者様に楽しく、かつ、心地良い生活を送っていただけるよう、個別外出や余暇活動を充実させるとともに、ユニットや居室内の整理・整頓、清潔保持のほか、生活上の音などにも配慮した、安全で安心な環境づくりに努める。

2. ご家族様の「想い」や「願い」を共有できる関係性をつくる

ご家族様に安心感と信頼感を持っていただけるよう、入居者様の日常の様子やケアの内容などをお伝えするほか、ご家族様からのご要望などをお伺いするなどして、ご家族様と職員が、入居者様への「想い」や「願い」を共有できる関係性を築いていく。

【指標・評価方法】

ご家族様に対して、入居者様の様子や変化、ケアの内容などを面会時などにお伝えするほか、定期的に「お便り」を発行・送付するとともに、ご家族様がケアに関するご希望な

どを気兼ねなく職員に伝えられるよう、入居者様ごとのケアの主担当職員を明確にする。

また、ご家族様と入居者様が一緒に楽しい時間を過ごす中で笑顔が生まれるような行事を企画するとともに、ご家族様に対して積極的な参加を呼びかけていく。

3. 元気な地域づくりの活動拠点施設として、地域資源となる新たな取組を創出する

職員の様々な専門性の活用や他の介護福祉事業所などと連携して、地域住民を対象とする「健康増進」や「フレイル予防」などの講座を開設していく。

また、地域における介護福祉施設としての理解を拡げていくため、高齢者だけではなく、若い世代との交流も促進していく。

【指標・評価方法】

専門職員の知識や技術を、地域住民を対象とする「健康講座」などの身体活動のほか、「パソコン教室」などの文化活動という形で地域に還元するなどして、当施設が元気な地域づくりの新たな活動拠点として地域に根差していくことを目指す。

また、施設内の地域交流スペースを近隣の小中学校の課外授業などに活用していただくほか、保育園や児童会館なども含めた交流を促進していくことで、若い世代にも、介護や福祉を身近に感じていただく機会をつくる。

4. 職員が自らの成長を実感でき、スキルアップを目指す環境づくりを進める

入居者様により安心して生活していただけるよう、職員のケアスキルを一層高めていくため、ユニットケアや看取り介護などの専門的知識や技術を学ぶ機会を一層充実させる。

また、多数入職した新入職員も含めた全ての職員が、高い意識と強い意欲を持ちつつ、自らの成長を実感しながら、働き続けられる職場環境づくりを進める。

【指標・評価方法】

各職員が自らの目標を設定し、取組の実践・評価及び改善が循環していくPDCAサイクルによる職員育成のための仕組みをスタートさせるほか、入居者様ファーストのケア実践に必要な職員の専門性を高めるための施設内研修や外部派遣研修を充実させる。

また、新入職員を含めた全ての職員が、互いを尊重し合い、自らの成長を感じながら、高い意識と強い意欲を持って、一つのチームとして連携・協力していける働きやすい職場づくりを目指す。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	運営会議	毎月第4水曜日 13:30～
	副主任等会議	毎月第1及び第3水曜日 16:15～
	職員会議	4月・7月・10月・1月第4水曜日16:15～
	フロア会議	月1回
	入所検討委員会	4月・7月・10月・1月第4水曜日10:30～
	サービス担当者会議	随時
委員会	事故防止・苦情検討委員会	毎月第2木曜日 16:15～
	感染症予防委員会	5月・8月・11月・12月・1月・2月・3月第2月曜日 16:15～
	身体的拘束廃止・虐待防止委員会	毎月第2金曜日 16:15～
	褥瘡予防対策委員会	毎月第2火曜日 16:15～
	看取り介護検討委員会	毎月第2水曜日 16:15～
	広報・研修委員会	毎月第1火曜日 16:15～
	給食委員会	定期的に開催

年間行事予定

月	日	行 事	内 容
5月	10(日)	母の日のお祝い	女性の入居者及び利用者にプレゼントを贈り、お祝いする。
6月	6(土)	開設記念行事	ユニット又はフロア毎に、ご家族を招き、お祝いする。
	21(日)	父の日のお祝い	男性の入居者及び利用者にプレゼントを贈り、お祝いする。
7月	25(土)	手稲ロータス夏まつり	入居者・家族・地域に向けた、出店やイベントを催す。
9月	19(土)	敬老祝賀会	ユニット又はフロア毎に、ご家族を招き、長寿をお祝いする。
12月	25(金)	クリスマス会・忘年会	ユニット又はフロア毎に企画を立て、親睦を図り1年の労をねぎらう。
2月	3(水)	節分行事	入居者による豆まきをし、1年の厄を払い健康に過ごしていただく
3月	3(水)	桃の節句	ひな壇を飾り、食事を楽しむ。
通年	—	個別活動	入居者のニーズに合わせ、外食行事などを楽しむ。
<p>【備考】</p> <p>※「誕生会」は、各ユニットにて入居者の誕生に合わせ個別に実施する。</p> <p>※「開設記念行事」は、入居者とご家族が交流できる機会とすることから、6月6日(土)又は6月7日(日)どちらかに実施する。</p> <p>※「敬老祝賀会」は、入居者とご家族が交流できる機会とすることから、9月19日(土)又は9月20日(日)どちらかに実施する。</p> <p>※「個別活動」は、各ユニットにて外食行事などを企画しながら随時実施する。</p> <p>※「避難訓練」は、年2回実施(日中・夜間想定)する。</p> <p>※「地域活動」は、地域交流スペースにて運動教室等の身体活動、パソコン教室等の文化活動を随時実施する。</p>			

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
5月	母の日のお祝い	10日	女性の入居者及び利用者にプレゼントを贈り、お祝いする。	プレゼント代 880 × 60人		52,800	52,800
6月	開設記念式典	6日	ユニットまたはフロア毎に企画を立て、お祝いする。	入居者食事代 440 × 80人 ケーキ代など 220 × 80人 飲み物代 3,300 × 8 ユニット 往復はがき代 126 × 80人 運営費 5,500 × 8 ユニット	35,200 17,600 26,400	10,080	150,880
	父の日のお祝い	21日	男性の入居者及び利用者にプレゼントを贈り、お祝いする。	プレゼント代 880 × 20人		17,600	
7月	手稲ロータス夏まつり	25日	入居者・家族・地域に向けた、出店やイベントを催す。	模擬店材料代 1,100 × 200人 往復はがき代 126 × 80人 装飾品代 5,500 × 8 ユニット 運営費 330 × 200人	220,000	10,080 44,000 66,000	340,080
9月	敬老祝賀会	19日	ユニットまたはフロア毎に、ご家族を招き、敬老をお祝いする。	入居者食事代 440 × 80人 ケーキ代など 220 × 80人 往復はがき代 126 × 80人 被表彰者記念品代(100歳以上) 3,300 × 5人 被表彰者記念品代(喜寿) 3,300 × 5人 被表彰者記念品代(傘寿) 3,300 × 5人 被表彰者記念品代(米寿) 3,300 × 5人 被表彰者記念品代(卒寿) 3,300 × 5人 被表彰者記念品代(白寿) 3,300 × 5人 賞状用紙代 5,500 1回 運営費 5,500 × 8 ユニット	35,200 17,600	10,080 16,500 16,500 16,500 16,500 16,500 16,500 5,500 44,000	211,380
12月	クリスマス・忘年会	25日	ユニット又はフロア毎に企画を立て、親睦を図り1年の労をねぎらう。	入居者食事代 440 × 80人 ケーキ代など 220 × 80人 飲み物代 2,750 × 8 ユニット プレゼント代 550 × 80人 往復はがき代 126 × 80人 運営費 5,500 × 8 ユニット	35,200 17,600 22,000	44,000 10,080 44,000	172,880
2月	節分行事	3日	豆まきを楽しむ。	入居者食事代 220 × 80人 運営費 2,750 × 8 ユニット	17,600	22,000	39,600
3月	桃の節句	3日	ひな壇を飾り、食事を楽しむ。	入居者食事代 220 × 80人 運営費 2,750 × 8 ユニット	17,600	22,000	39,600
	誕生会	随時	各入居者に誕生日プレゼントを贈る。	プレゼント代 1,500 × 100人		150,000	
	個別活動	随時	各ユニットにて外食行事などを企画しながら随時実施	職員食事代 840 × 140人 運営費 1,000 × 80人	117,600	80,000	
	地域活動	随時	地域交流スペースにて運動教室などの身体活動、パソコン教室などの文化活動を随時実施	運営費 3,300 × 12回		39,600	387,200
合 計					579,600	814,820	1,394,420

老 健 手 稲

居 宅 手 稲

手 稲 通 所 介 護

グ ル ー プ ホ ー ム

職員内部研修計画

(手稲あんじゅ 入所・短期・通所)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	介護事故防止対策について①	外部講師
5月	口腔ケアについて	外部講師
6月	感染症予防対策について①	外部講師
7月	高齢者虐待防止について	外部講師
8月	防災について	外部講師
9月	苦情解決について	外部講師
10月	感染症予防対策について②	外部講師
11月	介護事故防止対策について②	外部講師
12月	高齢者ケアについて	外部講師
1月	身体拘束廃止について	外部講師
2月	メンタルヘルスについて	外部講師
3月	接遇について	外部講師
随時	新規採用職員研修	各事業の主任など

(手稲あんじゅ居宅)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	接遇について	介護支援専門員
5月	倫理と基本姿勢について	介護支援専門員
6月	ケアマネジメントについて (インテーク、アセスメント)	介護支援専門員
7月	ケアマネジメントについて (ケアプランの作成、モニタリング)	介護支援専門員
8月	社会資源について	介護支援専門員
9月	緊急時の対応について	介護支援専門員
10月	高齢者に多い病気について	介護支援専門員
11月	医療連携について	介護支援専門員
12月	リスクマネジメントについて	介護支援専門員
1月	高齢者虐待について	介護支援専門員
2月	セルフコントロールについて	介護支援専門員
3月	来年度の介護保険制度の動向について	介護支援専門員
その他	外部研修 (札幌市、ケアマネ連協、包括支援センター、他事業所等)	外部講師

(手稲あんじゅ訪介)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	混在サービスの取り扱い等について	サービス提供責任者等
5月	接遇マナーについて	サービス提供責任者等
6月	認知症ケアに関する研修	サービス提供責任者等
7月	サービス情報の共有について	サービス提供責任者等
8月	介護技術研修 (身体介護編)	サービス提供責任者等
9月	身体拘束・高齢者虐待防止について	サービス提供責任者等
10月	介護技術研修 (生活援助編)	サービス提供責任者等
11月	個人情報保護に関する研修	サービス提供責任者等
12月	感染症予防対策について	サービス提供責任者等
1月	訪問介護計画書・サービス記録に関する研修	サービス提供責任者等
2月	リスクマネジメント研修	サービス提供責任者等
3月	他サービスとの連携について	サービス提供責任者等

(手稲ロータス通所)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	接遇について	生活相談員
5月	事故防止について①	介護職員
6月	感染症・食中毒の予防について①	管理栄養士
7月	プライバシーの保護について	生活相談員
8月	緊急時の対応について	生活相談員・看護職員
9月	身体拘束廃止について	生活相談員
10月	感染症・食中毒の予防について②	管理栄養士
11月	非常災害時の対応について	生活相談員
12月	認知症について	介護職員
1月	高齢者虐待防止について	生活相談員
2月	事故防止について②	介護職員
3月	職業倫理及び法令順守について	管理者
随時	新規採用職員研修	主任・副主任

(手稲ゆうゆう)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	事故・ヒヤリハットの分析と対策（2019年度集計より）	事故対策委員
5月	身体拘束廃止について①	計画作成担当者
6月	感染症（食中毒）と蔓延防止策について	計画作成担当者
7月	認知症の理解	外部研修参加者
8月	倫理・法令遵守について	管理者
9月	ケアプランについて	計画作成担当者
10月	高齢者虐待防止・身体拘束廃止について②	外部研修参加者
11月	感染予防対策について	管理者
12月	記録の書き方について	計画作成担当者
1月	個人情報、プライバシーの保護について	管理者
2月	非常災害時の対応について	管理者
3月	介護職のための医療知識、救急対応について	計画作成担当者
その他	新規採用職員研修	計画作成担当者

老人保健施設 手稲あんじゅ
手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所
手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

介護老人保健施設 手稲あんじゅ

「自宅で生活したい」という入所者の希望を叶えるため、多職種協働のもと、各ケースの課題解決に向けた取り組みを実践した結果、在宅復帰を実現することができている。今後も介護老人保健施設が求められている在宅復帰支援を推し進めると同時に、「生活の質」にも着目し、個別のかつ職員間で統一したケアを展開できる体制を目指していく。

《重点推進課題》

個別ケア体制の確立

多職種でアセスメント(評価・課題抽出)を行い、ケア方針の決定及びケア内容の評価を行っていく。現体制(グループケア)の特性を十分に活かし、個別的なケアを提供できる体制を確立する。

【指標・評価方法】

- ① 個別ケースの「計画・実行・評価・改善(PDCA サイクル)」を再構築する。ケアカンファレンスの実施方法見直し及び必要性に応じてグループ会議を活用していく。
- ② 入所者のケア状況等を確実に情報共有するため、情報の周知方法(発信・受信)を再検討し、情報共有システムを確立する。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会議	職員会議	必要に応じて随時開催
	主任会議	第2・4木曜日 17:00～
	グループ会議	各グループ月1回 17:45～
	入所(退所)判定会議	随時
	サービス担当者会議	随時
委員会	感染症予防対策委員会	第1木曜日 16:00～
	褥瘡予防対策委員会	第2木曜日 16:00～
	身体拘束廃止委員会	第3木曜日 16:00～
	事故防止検討委員会	第4木曜日 16:00～
	広報委員会	第2火曜日 17:00～
	教育訓練委員会	第3火曜日 17:00～
その他	入所者懇談会	年2回(4・10月)第2金曜日 11:00～

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月	各階1回	おやつを楽しむ会	利用者と手作りをしたり、普段と違うおやつを用意して楽しむ
5月	10日 3週目	母の日のお祝い お花見ドライブ(厚田)	女性入所者へ花などを贈り、お祝いする 厚田へ出掛けて、桜を見物する
6月	1日 複数回 21日	開設記念式典 動物園見学 父の日のお祝い	豪華な食事で開設記念日を祝う(デイケア合同) 円山動物園へ出掛けて、見学を楽しむ 男性入所者へ花などを贈り、お祝いする
7月	複数回	外出(外食や買い物)	屋内ショッピングモール等に出掛け、外食や買い物を楽しむ
8月	2日 中旬 各階1回	手稲あんじゅ夏祭り 花火大会 テラスDEカフェ	行事を通しての地域交流・貢献の実施 夕暮れ時に花火を上げて、観賞して頂く テラスでソフトドリンク、軽食を提供する
9月	19日	敬老祝賀会	家族を昼食に招いて長寿を祝う(デイケア合同)
10月	上旬	紅葉狩りドライブ(朝里ダム)	朝里ダムへ出掛けて、紅葉を見物する
11月	各階1回	演芸会	ボランティアによる歌や演奏などを鑑賞する
12月	中旬 下旬	冬至の変わり湯(ゆず湯) 忘年会	いつもと違うお湯で入浴して頂き、季節を感じる 皆さんで食事を囲み、新しい年へ向けた宴会
1月	1・2日 各階1回	新年茶話会 のど自慢大会	茶話会をして新年を祝う カラオケなどを皆さんで楽しむ
2月	3日	豆まき	干支歳の入所者による豆まき等
3月	各階1回	映画鑑賞会	皆さんで集まって映画を鑑賞する

【備考】

- ※「誕生会」各入所者の誕生日の11:00に実施
- ※「音楽療法」毎月第3火曜日14:00～
- ※「化粧療法」2ヶ月に1回火曜日14:00～実施(化粧教室、ハンドマッサージ・ネイル教室)
- ※「あんしんお届け便」(外部業者によるショッピング機会の提供)年2回(1回目は5/29)
- ※「喫茶」(各階)毎週日曜日14:00～
- ※「避難訓練」年2回
- ※上記以外に「個別外出」、地域交流等を実施

年間行事予算

(単位:円)

会議	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	おやつを楽しむ会	各階1回	利用者と手作りをしたり、普段と違うおやつを用意して楽しむ	食材費等 500 × 90人 運営費 10,000 × 2回	45,000	20,000	65,000
5月	母の日のお祝い	10日	女性入所者へ花などを贈り、お祝いする	プレゼント代 880 × 80人		70,400	70,400
	お花見ドライブ (厚田)	3週目	厚田へ出掛けて、桜を見物する	実費	0	0	0
6月	開設記念式典	1日	豪華な食事で開設記念日を祝う	入所者飲食代 660 × 90人 運営費 20,000 × 1回	59,400	20,000	79,400
	動物園見学	複数回	円山動物園に出掛けて、見学を楽しむ	職員飲食代 940 × 30人 駐車場代 700 × 5回	28,200	3,500	31,700
	父の日のお祝い	21日	男性入所者へ花などを贈り、お祝いする	プレゼント代 880 × 10人		8,800	8,800
7月	外出 (外食や買い物)	複数回	屋内ショッピングモール等に出掛け、外食や買い物を楽しむ	職員飲食代 940 × 30人	28,200		28,200
8月	手稲あんじゅ夏まつり	3日	行事を通しての地域交流・貢献の実施	模擬店材料代・飲物代 200,000 × 1回 ボランティア食事代 400 × 30人 容器代他 20,000 × 1回 装飾費等 50,000 × 1回	200,000 12,000	20,000	282,000
	花火大会	中旬	夕暮れ時に花火を上げて、観賞して頂く	運営費 20,000 × 1回		20,000	20,000
	テラスDEカフェ	各階1回	テラスでソフトドリンク、軽食を提供する	食材費等 500 × 90人 運営費 5,000 × 2回	45,000	10,000	55,000
9月	敬老祝賀会	19日	家族を昼食に招いて長寿を祝う	入所者食事代 660 × 90人 家族食事代 300 × 70人 飲物代他 25,000 × 1回 案内郵送代 168 × 90人 記念品代(男女最高齢) 12,000 × 2人 記念品代(賀寿) 8,400 × 30人 容器代他 15,000 × 1回 運営費 30,000 × 1回	59,400 21,000 25,000	15,120 24,000 252,000 15,000 30,000	441,520
10月	紅葉狩りドライブ (朝里ダム)	上旬	朝里ダムに出掛けて、紅葉を見物する	実費	0	0	0
11月	演芸会	各階1回	ボランティアによる歌や演奏などを鑑賞する	出張費等 10,000 × 2回		20,000	20,000
12月	冬至の変わり湯 (ゆず湯)	中旬	いつもと違うお湯で入浴して頂き、季節を感じる	運営費 10,000 × 1回	10,000		10,000
	忘年会	下旬	皆さんで食事を囲み、新しい年へ向けた宴会	入所者食事代 660 × 90人 飲物代他 10,000 × 1回 運営費 10,000 × 1回	59,400 10,000 10,000		79,400
1月	新年茶話会	1・2日	茶話会をして新年を祝う	飲食代等 15,000 × 1回	15,000		15,000
	のど自慢大会	各階1回	カラオケなどを皆さんで楽しむ	運営費 10,000 × 2回	20,000		20,000
2月	豆まき	3日	干支歳の入所者による豆まき等	運営費 10,000 × 1回		10,000	10,000
3月	映画鑑賞会	各階1回	皆さんで集まって映画を鑑賞する	運営費 10,000 × 2回		20,000	20,000
その他	誕生会	随時	各入所者に誕生日プレゼントを贈る	プレゼント代他 1,100 × 90人		99,000	99,000
	音楽療法	月1回	音楽療法士による音楽療法	委託料 10,000 × 12回		120,000	120,000
	化粧療法	年6回	資生堂による化粧療法	委託料 11,400 × 6回		68,400	68,400
	あんしんお届け便	年2回	外部業者によるショッピング機会の提供	実費		0	0
	買い物代行	月2回	ネットショッピングによる買い物	実費		0	0
	個別外出	随時	急なニーズに対応	職員飲食代 940 × 30人 運営費 15,000 × 1回	28,200	15,000	28,200 15,000
	外出デイ レクリエーション費	年16回 随時	季節折々の観光地や公共施設等へ外出 グループごとに行うレクリエーション等	職員・ボランティア飲食代 1,240 × 100人 運営費 40,000 × 3グループ	124,000	124,000	124,000 120,000
				合計	799,800	1,031,220	1,831,020

手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所

利用者や家族の気持ちに寄り添い、住み慣れた場所での生活を継続できるよう支援していく。また、多様なニーズに柔軟に対応できるようにサービス内容や支援体制を日ごろから見直し、利用者支援に反映できるようにしていく。

《重点推進課題》

個別性の高いプログラムの実践と評価

個々に合わせた活動プログラムを作成し、利用者自身で実践できる仕組みを確立することで、本人の意欲向上につながるようにする。

また、本人家族とともに活動プログラムを評価できるようにし、個々の通所リハビリテーション計画書の目標につながるようにする。

【指標・評価方法】

個々の目標に合わせたプログラムの計画作成や評価などの流れを確立する。確立された流れをもとに、運動計画の作成から実践、評価までを行う。評価をもとに、現在の心身機能に見合ったプログラムであるかを定期的に見直し、実行していく。

各種会議・委員会

月	会議予定	開催日
会議	デイケア会議	毎月第1火曜日 17:00～
	ケースカンファレンス	随時
	マネジメント・ミーティング	第2・4木曜日 17:00～
	職員会議	必要に応じて随時開催
	サービス担当者会議	随時
委員会	広報委員会	第2水曜日 17:00～
	教育訓練委員会	第3火曜日 17:30～

年間行事予定

(単位：円)

月	行事名	予算内訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
5月	お花見ドライブ	実費	0	0	0
6月	開設記念日	利用者食事代(当日) 660 × 37人	24,420		24,420
7月	外気浴	運営費 5000 × 6回		30,000	30,000
8月	ロータス会夏祭り	模擬店材料・飲食代 30000 × 1回	30,000		40,000
		運営費 10000 × 1回		10,000	
9月	敬老祝賀会	利用者食事代(当日) 660 × 37人	24,420		171,020
	敬老祝週間	記念品代 660 × 110人		72,600	
		記念品代(賀寿) 4400 × 10人		44,000	
		運営費 5000 × 6回		30,000	
12月	年末ビンゴ大会	プレゼント代 1,320 × 110人		145,200	145,200
通年	レクリエーション制作教材費	30000 × 12ヵ月		360,000	480,500
	ボランティア謝礼	5000 × 12回		60,000	
	誕生祝い(プレゼント代)	550 × 110人		60,500	
		合計	78,840	812,300	891,140

手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

利用者が可能な限り、その居宅や地域において、その有する能力に応じ自立した日常生活を目指すため、心身機能の維持や改善のみではなく、「活動」や「社会参加」などにも働きかけた支援を展開していく。

《重点推進課題》

利用者の社会参加への支援

利用者が訪問リハビリテーションに求めるサービスとして、自宅内や自宅周囲の活動だけではなく、交通機関等を利用する外出や買い物への要望が大きくなってきている。利用者の社会参加を出来る限り実現していくため、ケアマネージャーや関連事業所と連携を図りながら社会参加支援に取り組む。

【指標・評価方法】

訪問リハビリテーションサービスの中で利用者との外出を行う場合、時間制約や移動方法等、多数の解決しなければならない課題が生じる。それらの課題に対しては、利用者本人や家族、事業所の医師や関連事業所との連携を取ることで、サービス内容の適正化を図る。また、変更したサービス内容については、訪問リハビリテーション計画の見直しを図り、利用者の同意を得ることとする。

手稲あんじゅ 指定居宅介護支援事業所
手稲あんじゅ(介護予防)訪問介護事業所
札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

手稲あんじゅ 指定居宅介護支援事業所

利用者一人ひとりが、住み慣れた自宅や地域で暮らしていけるよう、家族のみならず、地域にも目を向け、インフォーマルサービスの更なる強化を図る。

《重点推進課題》

「地域の力を支援に繋げる」

利用者の持つ「強み」と、利用者が暮らしている地域の「強み」は何かを把握し、介護保険だけではなく、本人と本人を取り巻く地域の社会資源を活用し、地域全体で継続した支援が可能となる事業所を目指す。

【指標・評価方法】

- ① 事業所内外での事例検討や他の居宅介護支援事業所との合同事例検討会を通して、新たな視点を持ち、専門職として力をつけていく。
- ② 特養ロータスの「地域交流スペース」を新たな開催場所に加え、「café ange」を更に発展させ、地域に根差した顔の見える事業所を目指す。

手稲あんじゅ訪問介護事業所
手稲あんじゅ札幌市訪問介護相当型サービス事業所
手稲あんじゅ居宅介護事業所

住み慣れた家で、暮らし続けることができるよう、利用者及び家族を含め、介護従事者等が協力・連携し、暮らしに必要な援助を提供できるよう努める。また、制度上「提供できないこと」についても利用者の立場に立って考え、応えることができるよう、保険外サービス(自費サービス)を適切に提供し、円滑な日常生活を送ることができるよう努める。

《重点推進課題》

「利用者と家族に寄り添った介護を提供」

必要性があっても、介護保険(障害者総合支援法)の範囲では提供できないサービスについては、保険外サービス(自費サービス)を活用することで、より円滑な日常生活を送ることが可能と考える。そのために、利用者及び家族、事業所がお互いに、制度を共通理解することで、円滑な事業運営の実施と信頼できる事業所を目指す。

【指標・評価方法】

- ①介護保険制度(障害者総合支援法)について訪問介護職員全員の理解を深めるための研修を定期的実施
- ②業務内容(業務分担)を見直し、サービス提供責任者が、利用者宅へ定期訪問できる体制を整備し、モニタリングを実施
- ③提供したサービス評価の事業所全体による情報共有

札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

更なる介護予防の普及啓発活動と一般介護予防事業を押し進めていく。また、地域住民の自主的な介護予防の取り組みの集いの場作りと継続して活動できるよう支援に努める。

《重点推進課題》

住民主体の介護予防活動の支援と更なる推進

住民主体で行われている介護予防活動に直接出向いての活動状況の把握と問題点、改善点について主催者と共有し、継続して活動できるよう支援していく。また、新たな介護予防活動の集いの場が生まれるように、地域住民への働きかけを行う。

【指標・評価方法】

担当地区内で地域住民が自主的に介護予防に取り組んでいる自主運動サークル(10カ所)を定期訪問(3か月～半年に1回程度)し、活動状況の把握と主催者の今後の考えなどについて聞き取りを行う。

札幌市で普及を推進しているご当地体操「サッポロスマイル体操」を新たな運動プログラムの選択肢として自主運動サークルなど自主的に介護予防活動を行っている団体にPRと活用に必要な支援を随時行っていく。

介護予防活動が行われていない「空白地帯」を示したマップを基に住民主体の新たな自主活動サークルが立ち上げることができる場所を探し出し、1カ所以上の自主活動サークルの立ち上げを目指す。

年間会議予定

月	会議予定(開催日)	対象事業所
通年	居宅会議(毎週金曜日)	居宅介護支援事業所(介護支援専門員)
	ヘルパー合同会議(月1回)	訪問介護事業所
	ヘルパー定例会議(月2回)	訪問介護事業所
	地区地域ケア会議(各地区1回 年2回)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	手稲区地域包括支援センター介護予防センター連絡会議(月1回 第3火曜日)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	地区連絡会議(区保健師・地域包括支援センター・介護予防センター)(月1回)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	手稲区地域ケア推進会議(年2回)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	介護予防事業情報交換会(手稲区:各4介護予防センター)(年6回)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	稲穂金山健康づくり事業(2月)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	稲穂金山地区各種団体交流会(3月)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	手稲ふれあいフェスティバル(手稲区介護予防センター共催事業)(9月)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	星置地区福祉のまち推進センター運営会議(月1回 第1火曜日)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	星置地区福祉推進委員の集い(年2回)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	星置地区各種団体新年交流会(1月)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	手稲区認知症対策検討委員会(年2回)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

介護予防普及啓発事業予定・予算

(単位:円)

月	活動名	費用内訳	金額	合計予算金額
4月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 実施回数 3回	4,100 6,000	10,100
5月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 講師謝礼代 実施回数 3回	4,100 6,000 10,000	20,100
6月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 講師謝礼代 実施回数 3回	4,100 6,000 3,000	13,100
7月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 講師謝礼代 実施回数 3回	4,100 5,000	9,100
8月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 実施回数 3回	4,100 9,000	13,100
9月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 講師謝礼代 実施回数 3回	4,100 5,000	9,100
10月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 講師謝礼代 実施回数 3回	4,900 15,000	19,900
11月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 講師謝礼代 実施回数 3回	4,900 3,000	7,900
12月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 実施回数 3回	4,900 9,000	13,900
1月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 講師謝礼代 実施回数 3回	4,900 9,000 3,000	16,900
2月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 実施回数 3回	4,900 6,000	10,900
3月	介護予防すこやか倶楽部	会場費代 講師謝礼代 実施回数 3回	4,900 5,000	9,900
	介護予防機能強化業務 (旧一般介護予防モデル事業)	会館費用 運動用ゴムバンド代 材料費代(資料作成・印刷・運動CD作成物品等) 実施回数 36回	54,000 50,000 20,000	124,000
	地域福祉活動支援事業	材料費代(講話資料・物品購入・印刷代等) 実施回数 32回	15,000	15,000
	その他活動予備費	その他介護予防事業等の予備経費	60,000	60,000
合 計			353,000	353,000

手稲ロータス（介護予防）通所介護事業所

手稲ロータス通所介護事業所

社会資源の活用等、地域の協力を得た活動を取り入れることで、利用者和社会(地域)が
つながる機会となり、利用者にとって新たな魅力が感じられるサービス提供を目指す。

《重点推進課題》

社会(地域)とのつながり

社会資源の活用により、利用者の活動参加への選択肢を増やすと共に、ニーズに応じたサービス提供となることを目指す。また、活動の目的を持つことで参加へのモチベーションを高め、利用者の満足度向上を目指す。

【指標・評価方法】

- ①レクリエーションメニュー増加のために余興披露や活動講師等、ボランティアの受け入れを月1回以上実施する。
- ②近隣の社会資源である関係機関(学校等)との新たな交流機会を持つ。
- ③利用者の活動について事業所外へ発信できる機会を持つ。

年間会議予定

月	会議予定	開催日
会議	デイサービス会議	毎月第1水曜日 17:30～
	ケースカンファレンス・モニタリング	随時
	主任会議	毎月第2・4木曜日 17:00～
	職員会議	必要に応じて随時開催
	サービス担当者会議	随時
委員会	広報委員会	毎月第2水曜日 17:00～
	教育訓練委員会	毎月第3火曜日 17:30～
	各種委員会(レクリエーション・作品作り・利用者環境)	月1回開催

年間行事予定

(単位:円)

月	行事名	費用内訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
6月	開設記念日	利用者食事代(当日) 660 × 40 人	26,400		26,400
8月	夏祭り	模擬店材料代・飲食代 30,000 × 1 回 運営費	30,000	10,000	40,000
9月	敬老祝賀会	利用者食事代(当日) 660 × 40 人 記念品代 660 × 120 人 記念品代(賀寿) 4,400 × 13 人 運営費	26,400	79,200 57,200 16,500	179,300
12月	忘年会	プレゼント代 660 × 120 人 利用者食事代(おやつ代含む) 660 × 96 人 運営費	63,360	79,200 16,500	159,060
2月	節分	運営費		3,300	3,300
通年	レクリエーション制作教材費 誕生会(プレゼント代) ボランティア謝礼	30,000 × 12 ヵ月 550 × 120 人 5,000 × 12 回		360,000 66,000 60,000	486,000
合 計			146,160	747,900	894,060

(介護予防) 認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう

認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう

入居者が安心して暮らしていくためには、家族の支えも重要と考えている。家族と共に入居者本人を支えることができるよう努めていく。

《重点推進課題》

1. 個別ケアの継続

入居者が「できること、できそうなこと」、「できないこと、嫌なこと」を多面的に捉え、職員、家族とともに情報を共有し、支援する。

【指標・評価方法】

- ①入居者の生活習慣、趣味、嗜好、心身の状況を把握する
- ②入居者の要望に沿った個別外出を継続する(入居者毎、年1回実施)
- ③カンファレンスや行事等、積極的に家族に参加を促す。

2. 健康管理の強化及び健康増進

入居者が笑顔で健康に過ごせることを目標とし、入居者の有する各疾病をよく理解し、日々の中での体調変化を見落とすことがないように、早期発見に努める。

また、日常の中での「笑い」を拡げることや、食事内容の見直しを図り、健康増進できるように支援していく。

【指標・評価方法】

- ①家族、訪問診療医と情報を共有し、病気を早期発見する
- ②食事の献立に免疫力が高まる食材を使用する
- ③感染予防対策の見直しと整備を図る

年間会議予定

月	会議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員
通年	職員会議・・・毎月第4水曜日15:00開催	全職員
	避難訓練・・・年2回実施(日中想定・夜間想定・土砂災害想定)	全職員
	運営推進会議・・・2ヵ月に1回奇数月第4水曜日14:00～15:00	家族、町内会役員、包括支援センター他

年間行事予算

(単位:円)

月	行 事 名	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	ショッピング	バスレク	職員食事代 740 × 10人	7,400		9,880
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	子備費 職員飲食代 740 × 2人	1,480	1,000	
5月	端午の節句		柏餅代 220 × 18人	3,960	3,000	30,640
	母の日	女性入居者お祝い	菖蒲代 プレゼント代 550 × 16人	5,000	8,800	
	お花見	バスレク	職員食事代 740 × 10人	7,400		
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	子備費 職員飲食代 740 × 2人	1,480	1,000	
6月	開設記念日(1日)	祝賀会(家族参加)	往復ハガキ代 124 × 18人		2,232	39,012
	父の日	男性入居者お祝い	装飾費 御家族食事代 600 × 18人	10,800	5,000	
	市内見物	バスレク	子備費 プレゼント代 550 × 2人	5,000	1,100	
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	ケーキ代 職員食事代 740 × 10人	7,400	1,000	
7月	市内見物	バスレク	職員食事代 740 × 10人	7,400		11,360
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	子備費 職員飲食代 740 × 4人	2,960	1,000	
8月	夏祭り	母体施設と合同(家族参加)	往復ハガキ代 124 × 18人		2,232	64,112
	海辺見物	バスレク	運営費 職員食事代 740 × 10人	7,400	50,000	
	七夕 個別外出	七夕の飾りを行う 入居者の要望に沿った外出を行う	子備費 装飾費 職員飲食代 740 × 2人	1,480	1,000 2,000	
9月	敬老祝賀会	祝賀会(家族参加)	往復ハガキ代 124 × 18人		2,232	99,792
	市内見物	バスレク	装飾費 御家族食事代 600 × 18人	10,800	10,000	
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	記念品代 660 × 18人 祝品代 2,500 × 18人	7,400	11,880 45,000	
			子備費 職員食事代 740 × 10人	7,400	10,000	
10月	紅葉狩り	バスレク	職員食事代 740 × 10人	7,400		19,840
	十五夜		子備費 月見まんじゅう代 220 × 18人	3,960	5,000	
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	装飾費 職員飲食代 740 × 2人	1,480	2,000	
11月	外食デイ	バスレク	職員食事代 740 × 10人	7,400		9,880
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	子備費 職員飲食代 740 × 2人	1,480	1,000	
12月	クリスマス会・忘年会		往復ハガキ代 124 × 18人		2,232	64,832
			装飾費 プレゼント代 1,100 × 18人	10,800	10,000	
			御家族食事代 600 × 18人	10,000	19,800	
	冬至		ケーキ代 子備費 ゆず代		10,000 2,000	
1月	お正月 茶話会 新年会	ゲーム等を行い新年をお祝いする	装飾費 ゲーム材料代		20,000 3,000	23,000
2月	節分		豆代	1,000		1,000
3月	桃の節句	出前寿司	装飾費		2,000	2,000
通年	書籍代				20,000	20,000
	ユニット装飾費(春・夏・秋・冬)				20,000	20,000
	園芸用品代(野菜を収穫する)				20,000	20,000
	イベント食(春・夏・秋・冬)					
	ショッピング・お好み献立・パン献立・手作りおやつ・・・毎月実施					
合 計				133,840	301,508	435,348

特 養 音 更

職員内部研修計画

(ロータス音更)

実施月	研修内容	講師等
4月	事故防止、身体拘束廃止、感染症予防	各委員会
5月	認知症研修	施設向上研修委員会・通所介護事業所
6月	レクリエーション研修	施設向上研修委員会・通所介護事業所
7月	避難訓練	施設向上研修委員会
8月	救急・緊急時対応研修	施設向上研修委員会
9月	看取り介護研修	看取り介護検討委員会
10月	事故防止	事故防止委員会
11月	感染症予防	感染対策委員会
12月	避難訓練	施設向上研修委員会
1月	通所介護主催研修	通所介護事業所
2月	口腔機能向上研修	つがやす歯科
3月	外部研修伝達講習	施設向上研修委員会

介護老人福祉施設 □ー夕ス音更
□ー夕ス音更（介護予防）通所介護事業所
□ー夕ス音更（介護予防）認知症対応型通所介護事業所

介護老人福祉施設 ロータス音更

入居者の QOL を維持しながら、安心した日々を過ごしていただけるよう、入居者や家族のご希望に沿ったケアを実現する。そのために、全ての職員が目標へ向かって意識を統一し、これまで培った経験と実績を生かしたケアを心掛けるとともに、現在を上回るケアの追求に努める。

《重点推進項目》

1. QOL の維持について考え、個別ケアを実践する。

入居者と家族が共に過ごす時間を提供し、日々安心して暮らしていただくために、看取りを重視しながら、現状を見直し、ケアの質の向上や目標への意識統一を図り、日々の生活を充実させる。

【指標・評価方法】

- ・ 入居者や家族のご希望を汲み取る機会として、家族が参加する行事やアンケートを実施する。
- ・ 日常生活を見直す会議や研修を設け、個別ケアやQOLの維持について検討し、各委員会やユニットにて実施していく。
- ・ 余暇活動を実施する時間の確保や入居者個人に合わせた活動を充実させるために、業務改善を図り、実施、評価を行う。
- ・ 多職種で身体機能や認知症状を維持するため方法を協議し、習慣化できる活動を目指す。

以上の目標を達成させるために、各ユニット及び、部門で取り組み目標を設定し、実現させていく。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	運営ミーティング	毎月第1木曜日 10:30～
	職員会議	4月・7月・10月・1月 第1水曜日 16:30～
	ケアプランカンファレンス	毎週火曜日 11:00～
	リーダー会議	毎月第1木曜日 15:45～
	ユニット会議 / ミニカンファ	ユニット毎月1回実施 / 毎週1回及び月1～2回
研 修	施設内研修	毎月第4火曜日 16:30
懇談会	給食懇談会	毎月第3水曜日 15:00～
委員会	給食委員会	毎月第4木曜日 15:45～
	口腔機能向上委員会	1回目 毎月第4金曜日11:30～ 2回目 4月、7月、10月、1月、3月第4金曜日 15:45～
	身体拘束廃止委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第1木曜日 11:30～
	事故防止対策委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第2水曜日 15:45～
	感染症予防対策委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第4水曜日 15:45～
	生きがい活動委員会	4月、9月、2月・3月 (その他の月は必要に応じ開催) 第3金曜日 15:45～
	施設向上研修委員会	4月・6月・8月・10月・12月・2月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第3木曜日 15:45～
	看取り介護検討委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第2木曜日 15:45～
	痰の吸引等安全対策委員会	対象者がいる場合に随時実施

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月	26日(金)	イトーヨーカドー移動販売	あんじゅ音更を会場として、移動販売の実施。
5月	—	お花見	桜を見ることで季節感を感じて頂く(近隣から鈴蘭公園の範囲)
	24日(日)	開設記念式典	開設記念をご家族を招いて祝う。
	—	保育園交流	鈴蘭保育園児との交流。
6月	—	蕎麦打ち	手打ち蕎麦の実演を楽しむ。
	—	日帰り温泉	温泉を楽しむ
7月	26日(日)	夏祭り	あんじゅ音更と合同で実施。出店やイベントを催す。
8月	—	納涼会	ユニット毎に花火や食事をして楽しむ。
	—	施設居酒屋	居酒屋の雰囲気を楽しむ。
9月	13日(日)	敬老祝賀会	ご家族も参加し長寿を祝う。
10月	—	保育園交流	鈴蘭保育園児との交流。
	—	アニマルセラピー	小動物との触れ合いを楽しむ。
11月	—	お食事会	お楽しみ食事会(セレクトメニュー)。
	—	観劇鑑賞	観劇と温泉

年間行事予定

12月	—	クリスマス会・忘年会	ユニット毎に企画を立て、親睦を図り1年の労をねぎらう。
		餅つき大会	昔からの風習を大事にし、つきたての餅を食べ新年を迎えて頂く。
1月	—	正月	お正月の食事メニューを楽しむ
2月	3日	節分行事	入居者による豆まきをし、1年の厄を払い健康に過ごして頂く。
	—	施設居酒屋	居酒屋の雰囲気を楽しむ。
3月	3日	春の行事食	ひな壇を飾り、お寿司を食べて楽しむ。
<p>【備考】</p> <p>※「誕生会」各ユニットにて入居者の誕生日に合わせ個別に実施</p> <p>※「個別外出」各ユニットにて動物園や外食行事などを企画しながら随時実施</p> <p>※「ユニット行事」年間予定行事を企画しながら随時実施</p> <p>※「喫茶」月1回程度、金曜日午後実施</p> <p>※「床屋」毎月第4月曜・第1、第2、第4火曜・第2木曜、第4日曜</p> <p>※「避難訓練」年2回実施(日中・夜間想定)</p>			

年間行事予算(案)

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月							0
5月	お花見 開設記念式典 保育園交流	7日~未定 24日	鈴蘭公園の桜を鑑賞し楽しむ 開設記念日を祝う。 鈴蘭保育園児との交流	入居者食事代 700 × 80 人 往復封筒代 168 × 72 人 飾り付け材料代外 2,000 × 4 ユニ ット プレゼント代 50 × 100 人	56,000	12,096 8,000 5,000	81,096
6月	蕎麦打ち 日帰り温泉	— —	手打ちそばの実演を楽しむ 温泉を楽しむ	食材費 125 × 80 人 入湯料・食事代 1,350 5 人		10,000 6,750	16,750
7月	夏祭り	26日	あんじゅ音更と合同、実施	入居者食事代 1,000 × 80 人 往復封筒代 168 × 72 人 飾り付け材料代外 240,000 ゲーム景品代 5,000	80,000	12,096 240,000 5,000	337,096
8月	納涼会 施設居酒屋	1~末日	流しそうめんを楽しむ 居酒屋の雰囲気を楽しむ	入居者食事代 400 × 80 人 材料代 1,000 材料費 15,000 × 1 回	32,000	1,000 15,000	48,000
9月	敬老祝賀会	13日	長寿を祝い、表彰を行う。 敬老週間(作品展示等)	往復封筒代 168 × 72 人 被表彰者記念品 3,000 × 10 人 入居者食事代 900 × 80 人 家族食事代 500 × 60 人 飾り付け材料代外 15,000	72,000 30,000	12,096 15,000	159,096
10月	保育園交流 アニマルセラピー	— —	鈴蘭保育園児との交流 小動物との触れ合いを楽しむ	プレゼント代 50 × 100 人 1時間コース(委託) 8,000 × 1 回		5,000 8,000	13,000
11月	お食事会 観劇鑑賞	1~末日 —	お楽しみ食事会(セレクトメニュー) 観劇・温泉入浴	入居者食事代 400 × 80 人 観劇料金 3,500 × 5 人	32,000	17,500	49,500
12月	クリスマス・忘年会 クリスマス 餅つき大会 大晦日	— — 27日 31日	クリスマスを祝う 杵と臼を使って参加、披露 おせち料理で新年を祝う	飾り付け材料代外 3,000 × 4 ユニ ット プレゼント代 300 × 80 人 入居者食事代(ユニット) 500 × 80 人 クリスマス用献立 100 × 80 人 もち米外 8,000 入居者食事代 300 × 80 人	40,000 8,000 0 24,000	12,000 24,000	108,000
1月	正月	1日	おせち料理で新年を祝う	入居者食事代 800 × 80 人 飲み物代等 100 × 80 人	64,000 8,000		72,000
2月	節分 施設居酒屋	3日 —	豆まきを楽しむ 居酒屋の雰囲気を楽しむ	豆と代替え食品代 5,000 巻き寿司、いなり 150 × 80 人 材料代 15,000 × 1 回	5,000 12,000	15,000	32,000
3月	春の行事食	3日	行事食を楽しむ(寿司行事) 桃の節句 デザートバイキング	入居者食事代 800 × 80 人 食材費 220 × 80 人 食材費 10,000	64,000 17,600 10,000		91,600
通年	誕生会 ユニット行事 入浴行事 調理レク 季節のお菓子 行事食		誕生日プレゼント 各ユニットでイベントを開催する。 5月と12月の入浴で変わり湯を楽しむ 調理レクを楽しむ 季節のお菓子 年間のイベント毎に食事を楽しむ	プレゼント代 1,300 × 72 人 材料代 2,000 × 材料代 2,000 × 4 回 食材費 200 × 80 人 × 4 回 食材費 100 × 80 人 × 4 回 食材費 100 × 80 人 × 2 回	93,600 2,000 8,000 64,000 32,000 16,000	215,600	
合 計					666,600	557,138	1,223,738

ロータス音更(介護予防)通所介護事業所 ロータス音更(介護予防)認知症対応型通所介護事業所

通所は「社会参加」「生活支援」「介護予防」の3つに重点を置き、利用者の主体性を尊重した個別性の高いサービスを提供することで、通所を利用されている方が、できるだけ住み慣れた在宅において、健康で充実した生活が送れるよう支援する。

《重点推進課題》

1. 利用者が持つ身体的・精神的特徴を「個性」「その人らしさ」としてとらえ、一人の人として尊重した支援を行っていく。

認知症や高齢者特有の病気を「その人らしさ」としてとらえ、その人の「できること」を増やし、2年間続けてきた就労的支援活動のような地域への「社会参加」の可能性を見出し、していく。そのために、利用者の特徴を知り対応ができるよう職員のスキル向上に努める。

【指標・評価方法】

- ・ 「社会参加」～3年目となる施設内福祉バザーを今期も開催し、それに向けて日々畑作業、制作活動に励んでいけるよう支援していく。また、創作活動については、「音更町図書館への展示」を目標とし、日常生活を活気ある充実したものにできるよう支援する。
- ・ 「介護予防」～ふまねっとの開催日数を増やす、運動サーキットの考案など、楽しく運動を行えるプログラムの検討をしていく。
- ・ 「生活支援」～病状・認知症状の早期発見・把握を日ごろから心がけ、急変時や緊急時に家族と連携を持ってしっかり対応できる体制作りを行う。デイ会議の中で、事例検討会・勉強会を行い、情報の共有化・対応の統一を図り、評価を行いながら支援をチームで行う。

年間会議予定

月	会議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員
通年	職員会議(4, 7, 10, 1月)	全職員
	デイ会議(月1回)	全職員
	ケースカンファレンス(月1~2回)	全職員

年間予定

(単位:円)

月	行 事 名	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	春の大カラオケ大会	利用者・職員でカラオケを楽しむ会を開催。	製作材料費 2,000		2,000	2,000
5月	アニマルセラピー	動物との触れ合いを楽しむ会を開催。	1時間コース料金 (一般デイより計上)		8,000	8,000
6月	音楽療法の会	音楽療法士によるリズム・音楽療法を開催。	音楽療法士交通費 (一般デイより計上)		4,000	4,000
7月	夏の納涼祭	出店や神輿等、夏の雰囲気を楽しむ。また縁日などを通じて園児を招き地域交流を楽しむ。	飲食代 5,000 製作材料費・ゲーム景品代 4,000	5,000	4,000	5,000 4,000
8月	ビューティデイ(浴衣)	浴衣やメイク・ネイルを楽しむ、着飾り楽しむ。	メイク・ネイル材料費 2,000		2,000	2,000
9月	敬老週間	職員余興、外部のボランティア余興の開催。	記念品代 1,500 × 10人 記念品代 500 × 95人 製作材料費 2,000 ゲーム景品代 2,000		15,000 47,500 2,000 2,000	66,500
10月	ハロウィン(園児交流)	季節を感じられる行事と園児との交流。	材料費 3,000		3,000	3,000
11月	秋の大運動会	運動会行事を開催し、運動を楽しむ会。	製作材料費 3,000		3,000	3,000
12月	クリスマス忘年会週間	余興やクリスマスにちなんだイベントの実施。	プレゼント代 600 × 95人 製作材料・ゲーム景品代 3,000 クリスマス献立 100 × 30人	3,000	57,000 3,000	63,000
1月	冬の昼食行事 もちつき (1日限定)	雰囲気の違い、昼食を楽しむ。 利用者と餅つきを交え懐かしむ。	食材料費 400 × 95 食材料費 1,000	38,000 1,000		38,000 1,000
2月	節分・お菓子作り ビューティデイ(マッサージ)	豆まきを行う。おやつレクを楽しむ。	おやつ材料費 2,000 恵方巻材料費 150 × 30 製作材料費 2,000	2,000 4,500 2,000		2,000 4,500 2,000
3月	ひな祭り・お菓子作り	ひな祭りを行う。おやつレクを楽しむ。	おやつ材料費 2,000	2,000		2,000
入浴	年間を通じて季節に応じた入浴レクを楽しむ(年2回を予定)		入浴レク材料費 (一般デイより計上)		3,000	3,000
通年	レクリエーション製作材料費		5,000 × 12ヶ月		60,000	
	誕生会(プレゼント代)		700 × 95人		66,500	
	本代(利用者用)		週刊誌代 1,350 × 12ヶ月		16,200	
	新聞代		道新スポーツ・道新購読料 5,962 × 12ヶ月		71,544	
	季節のお菓子(一人100円×4回分) 30人×4回		400 × 120人	38,000		
	イベント食(一人100円×30人分)		400 × 95人	38,000		
	外食行事		引率職員食事代	25,000		315,244
	カフェライラック喫茶飲食代		材料費 2,000 × 12ヶ月	158,500	369,744	528,244
			消 費 税	15,850	36,974	52,824
			合 計	174,350	406,718	581,068

年間会議予定

月	会議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員
通年	職員会議(4, 7, 10, 1月)	全職員
	デイ会議(月1回)	全職員
	ケースカンファレンス(月1~2回)	全職員

年間予定

(単位:円)

月	行 事 名	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	春の大カラオケ大会	利用者・職員でカラオケを楽しむ会を開催。	製作材料費 1,000		1,000	1,000
5月	アニマルセラピー	動物との触れ合いを楽しむ会を開催。	1時間コース料金 (一般デイより計上)		0	0
6月	音楽療法の会	音楽療法士によるリズム・音楽療法開催。	音楽療法士交通費 (一般デイより計上)		0	0
7月	夏の納涼祭	出店や神輿等、夏の雰囲気を楽しむ。また縁日などを通じて園児を招き地域交流を楽しむ。	飲食代 3,000 製作材料費・ゲーム景品代 1,000	3,000	1,000	3,000 1,000
8月	ビューティデイ(浴衣)	浴衣やメイク・ネイルを楽しむ、着飾り楽しむ。	メイク・ネイル材料費 1,000		1,000	1,000
9月	敬老週間	職員余興、外部のボランティア余興の開催。	記念品代 1,500 × 3人 記念品代 500 × 25人 製作材料費 2,000 ゲーム景品代 1,000		4,500 12,500 2,000 1,000	20,000
10月	ハロウィン(園児交流)	季節を感じられる行事と園児との交流。	材料費 3,000		3,000	3,000
11月	秋の大運動会	運動会行事を開催し、運動を楽しむ会。	製作材料費 2,000		2,000	2,000
12月	クリスマス忘年会週間	余興やクリスマスにちなんだイベントの実施。	プレゼント代 600 × 25人 製作材料・ゲーム景品代 2,000 クリスマス献立 100 × 12人	1,200	15,000 2,000	18,200
1月	冬の昼食行事 もちつき (1日限定)	雰囲気の違う、昼食を楽しむ。 利用者と餅つきを交え懐かしむ。	食材料費 400 × 12 食材料費 1,000	4,800 1,000		4,800 1,000
2月	節分・お菓子作り ビューティデイ(マッサージ)	豆まきを行う。おやつレクを楽しむ。	おやつ材料費 2,000 恵方巻材料費 150 × 12 製作材料費 1,000	2,000 1,800 1,000		2,000 1,800 1,000
3月	ひな祭り・お菓子作り	ひな祭りを行う。おやつレクを楽しむ。	おやつ材料費 2,000	2,000		2,000
入浴	年間を通じて季節に応じた入浴レクを楽しむ(年2回を予定)		入浴レク材料費 (一般デイより計上) 3,000		3,000	3,000
通年	レクリエーション製作材料費		5,000 × 12ヶ月		60,000	
	誕生会(プレゼント代)		700 × 25人		17,500	
	季節のお菓子(一人100円×4回分) 12人×4回		400 × 48人	19,200		
	イベント食(一人100円×12人分)		400 × 12人	4,800		
	外食行事		引率職員食事代	25,000		126,500
	カフェライラック喫茶飲食代		材料費 2,000 × 12ヶ月	65,800	125,500	19,130
			消 費 税	6,580	12,550	19,130
			合 計	72,380	138,050	210,430

音更町地域包括支援センター ロータス音更

音更町地域包括支援センター ロータス音更

地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう、総合相談窓口として心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことを目的とする。運営においては公益性・地域制・協働性の視点を大切に音更町の介護・福祉行政の一翼を担う公的機関として適正かつ円滑な運営を図っていく。

《重点推進課題》

1. 地域の総合相談窓口として地域の拠点となる地域包括支援センターを目指す

音更町地域包括支援センターを受託初年度として、地域包括支援センターの役割や業務を理解し、地域住民や関係機関とのネットワークの構築を目指していく。

【指標・評価方法】

- ① 下記の7つの業務を音更町と共同実施または引継ぎを円滑に行い、地域包括支援センターロータス音更が地域拠点として根付くための礎を構築していく。
 - 1) 介護予防ケアマネジメント業務
 - 2) 総合相談支援業務
 - 3) 権利擁護業務
 - 4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
 - 5) 認知症施策の推進業務
 - 6) 在宅医療・介護連携の推進業務
 - 7) 地域ケア会議開催業務
- ② 地域における総合相談の拠点として、担当圏域の住民や関係機関とのコミュニケーションを図り地域課題を共有する。
また各種ネットワーク会議などを通じて、担当圏域のみならず、音更町全体の課題も把握し、各地域包括支援センターとも情報を共有していく。

あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所

利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者自らの選択に基づきより自立した在宅生活を継続して営むことができよう、適切な医療保健サービス及び福祉サービス、施設等の多様なサービスを事業者との連携を得て総合的かつ効果的に提供されるよう配慮し、質の高いケアマネジメントを行うよう努め支援する。

《重点推進課題》

1. 介護支援専門員の資質向上と事業所内連携により質の高い支援を行う。

介護支援専門員として常に知識や技能を習得し、利用者や家族の置かれている環境や能力に応じて適切な介護保険サービスが提供されるよう努める。

【指標・評価方法】

- ① 初任者の介護支援専門員について、ケアマネジメントプロセスや相談援助技術に関する研修会への参加や事業所内 OJT を行い技能を習得する。
- ② 地域包括ケア会議、多職種連携にかかる会議研修に積極的に参加し、個別・地域課題からマネジメントの実践力の向上を図る。
- ③ 困難な事例について事業所内事例検討会やミーティングにて適宜情報共有し、担当介護支援専門員がひとりで抱えることなく事業所全体で具体的な支援方針を検討する。また、地域包括支援センターに相談し連携して対応する。
- ④ 介護サービス事業の公表制度の受け入れ、居宅介護支援サービス評価基準による自己評価を実施し課題解決に取り組み、サービスの質の向上を図っていく。

老 健 音 更

職員内部研修計画

(あんじゅ音更)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	接遇について	接遇向上委員会
5月	事故防止について(救命救急)	医療事故防止委員会(音更消防署)
6月	感染予防について	感染予防委員会
7月	福祉用具について	外部講師・研修委員会
8月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止委員会
9月	防災について	防災委員会
10月	地域包括ケアについて	外部講師・研修委員会
11月	感染予防について	感染予防委員会
12月	ミニ勉強会(医学知識・レクリエーション)	研修委員会
1月	事故防止について	医療事故防止委員会
2月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止委員会
3月	防災について	防災委員会

老人保健施設 あんじゅ音更
あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所
あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

介護老人保健施設 あんじゅ音更

入所者の皆様が、住み慣れた環境(地域)において、笑顔で自立した生活を送ることができるよう、個々に合わせたリハビリやレクリエーション、軽作業、季節ごとの行事などの活動を提供し、生活機能の維持・向上を図り、老人保健施設の役割である在宅復帰・在宅療養支援の機能を果たしていく。

また、介護度が重度の入所者やターミナル期にある方へ、尊厳のある安心した生活を送って頂くことができるよう、職員の資質向上を図る。

《重点推進課題》

1. 在宅復帰のための基盤の安定化と在宅支援機能のさらなる連携強化

「在宅復帰」を念頭に置き、各専門職が一体となり、個別リハビリの実施や日常生活の中でのリハビリ、活動参加を通して、身体機能の維持・向上を図る。あんじゅ音更が持つ在宅支援機能(入所・ショート・通所リハ・訪問リハ・居宅)の連携体制を強化し、在宅生活を支えることで、在宅復帰率50%以上の安定確保を目指していく。

【指標・評価方法】

- ①一般棟では、体操の時間を増やし、また、散歩と称して歩く機会を定期的に設け、運動の機会を増やし、身体機能の維持向上を図る。また、自宅での生活を想定した環境整備や日常の生活動作の支援を意識して行うことで、スムーズに在宅生活へ移行できるようにする。
- ②認知症専門棟ではあんじゅ音更で過ごす毎日が『笑顔』『喜び』にあふれた充実したものとなるように、レクリエーションや生活の中でのリハビリの種類や回数を増やし、身体機能の維持・向上を図り在宅復帰を目指していく。在宅復帰が難しい方に対しても、一人ひとりの思いに寄り添い、ご家族とのつながりを密にとることで、入所者一人ひとりの思いを実現できるようにアプローチしていく。
- ③在宅復帰や要介護4・5の重度者への対応、ターミナルケアの提供など、老人保健施設としての幅広い役割を担って行けるよう、既存の会議の実施内容を見直し、介護の振り返りや勉強会の時間を設け、新しい知識・技術の習得など職員のスキルアップを図る。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	職員会議	年2回(4月下旬・10月下旬)
	幹部会議	毎月第2水曜日 17:00～
	入所判定会議	随時
	ケアカンファレンス	毎週水・金曜日 11:00～
	看護師会議	毎月第3火曜日
	フロア会議	2F:毎月第2木曜日 3F:毎月第2金曜日
	リハビリ会議	毎月第1水曜日
	施設内研修	毎月第4水曜日 18:00～
委員会	医療事故防止委員会	委員会 :毎月第3水曜日 小委員会:毎月第3水曜日 17:45～
	身体拘束廃止委員会	委員会 :毎月第3水曜日 小委員会:毎月第3木曜日 17:45～
	感染対策委員会	委員会 :毎月第3水曜日 小委員会:毎月第1水曜日 17:45～
	褥瘡対策委員会	3ヶ月毎(対象者がいる場合月1回)
	接遇委員会	毎月第4月曜日
	研修委員会	毎月第4火曜日
	教育委員会	毎月第2月曜日
	給食委員会	毎月第4木曜日
	防災委員会	毎月第3月曜日
	口腔ケア委員会	毎月第4月曜日 11:00～
	ターミナルケア委員会	毎月第2月曜日
	衛生委員会	毎月第1月曜日

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月		買物デイ	施設内に移動販売を呼び、買物を楽しむ。
		寿司行事	入所者の声を反映した食事提供を行う。
5月		母の日	母の日に合わせお祝いをする。
	15日	開設記念式典	開設16周年を祝う。
6月		父の日	父の日に合わせてお祝いを祝う。
	上旬	運動会	リハビリを兼ねて、運動の機会と交流を目的に行う。
		蕎麦行事	入所者の声を反映した食事提供を行う。
7月	26日	夏祭り	ロータスと合同開催。模擬店やイベントを催す。
8月		夏レク	夏らしいレクリエーションを行い季節感を感じていただく。
9月	13日	敬老祝賀会	家族と共に、入所者の長寿を祝う。
10月		寿司行事	入所者の声を反映した食事提供を行う。
		買物デイ	施設内に移動販売を呼び、買物を楽しむ。
11月		家族交流会	家族と利用者と鍋を囲み情報交換を行い交流を深める。
12月		クリスマス忘年会	食事を囲み、クリスマスの雰囲気を楽しむ。
	31日	年越し	神飾りや鏡餅を飾り、お酒を振る舞い新年を迎える。
1月	1日～2日	正月	おせち料理で新年を祝う。
	中旬	新年餅つき大会	杵と臼を使って、餅つきを楽しむ。
2月		節分	干支歳の入所者による豆まき等。
	下旬	鍋行事	昼食に鍋を囲んで、食事を楽しむ。
3月		桃の節句	職員による相撲大会。

※「誕生日会」各入所者の誕生日に実施

※「変わり湯」年2回実施

※「日曜喫茶」各階にて毎週日曜日に実施

※「くるみの会ボランティア喫茶」第1水曜日・「くるみの会ボランティアレク」第3木曜日

※「避難訓練」年2回(10月・3月)実施

※「華道クラブ」毎月第2土曜日に実施

※「個別外出」5月～10月の間で入所者の希望に沿った外出を実施

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	買い物デイ 寿司行事	日	施設内に店を呼び、買物を楽しみ社会交流を図る。 入所者の声を反映した食事提供を行う。	買い物代 実費 入所者食事代 700 × 100 人	70,000		70,000
5月	母の日 開設16周年記念 個別外出	15日	母の日に合わせお祝いをする。 開設記念を入所者と共に祝う。 入所者の希望に沿った外出を行う。	6,000 入所者食事代 400 × 100 入所者飲食代 実費	40,000	6,000	46,000
6月	蕎麦行事 運動会 父の日 個別外出		ボランティアによる蕎麦打ち披露、試食 リハビリを兼ねて入所者間の交流を図る。 父に日に合わせお祝いをする。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 200 × 100 人 装飾等備品代 20,000 6,000 入所者飲食代 実費	20,000	20,000 6,000	46,000
7月	夏祭り 個別外出	26日	ロータス音更との合同開催にて実施。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 300 × 100 人 模擬店食材料費 × 人 ジュース代 × 人 ボランティア食事代 300 × 45 人 職員昼食代 300 × 60 人 各階飾りつけ代 × 人 ゲーム景品 × 人 クリーニング代 法被 480 × 45 人 浴衣(利用者着 730 × 8 人 模擬店物品レンタル代 33,000 余興ボランティアお礼 5,000 入所者飲食代 実費	30,000 100,000 50,000 13,500 18,000 12,500 10,000 21,600 5,840 33,000 5,000		299,440
8月	夏レク 個別外出	下旬	夏らしいレクリエーションの実施。 入所者の希望に沿った外出を行う。	装飾等備品代 20,000 入所者飲食代 実費		20,000	20,000
9月	敬老祝賀会 個別外出	13日	家族、職員と共に入所者の長寿を祝う。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 760 × 100 人 家族食事代 500 × 70 人 高齢者記念品代 2,000 × 16 人 (喜寿・米寿・白寿・100歳以上) 装飾備品代 20,000 入所者飲食代 実費	76,000 35,000	32,000 20,000	163,000
10月	寿司行事 個別外出 買い物デイ		入所者の声を反映した食事提供を行う。 入所者の希望に沿った外出を行う。 施設内に店を呼び、買物を楽しみ社会交流を図る。	入所者食事代 900 × 100 人 入所者飲食代 実費 買い物代 実費	90,000		90,000
11月	家族交流会		家族と利用者と鍋を囲み、情報交換を行い、交流を深める。	入所者食事代 260 × 100 人 家族飲食代 260 × 54 人	26,000 14,040		40,040
12月	クリスマス忘年会 行事食 年越し	日 日 31日	フロア毎で企画を立て、入所者・職員の親睦を図る。 クリスマス昼食 神飾りや鏡餅を飾り、新年を迎える。	入所者食事代 500 × 100 人 装飾等備品代 20,000 入所者食事代 100 × 100 人 飲物・菓子・装飾等代 30,000	50,000 10,000	20,000 30,000	110,000
1月	正月 新年餅つき大会	1日 中旬	おせち料理で新年を祝う。 杵と臼を使って、餅つきを楽しむ。	おせち料理 1,200 × 100 人 もち米他材料代 10,000	120,000 10,000		130,000
2月	節分 昼食行事	3日 中旬	干支歳の入所者による豆まき等。 季節を感じ、鍋を囲んで交流を図る。	豆・備品代 10,000 入所者食事・飲物代 250 × 100 人	25,000	10,000	35,000
3月	桃の節句	日	大相撲大会	景品・備品代 10,000		10,000	10,000
通年	誕生日会 変わり湯(8月3月) 喫茶 レク用品 園芸用品 職員食事代 備品購入代 予備費	毎月 2回 水・日曜	入所者の誕生日に合わせ、お祝いする。 変わり湯を楽しみ、入浴意欲を高める。 ボランティアによる喫茶開催(第1水曜日) フロアにおける活動費 花壇等の環境整備 外出行事の際の食事代 行事備品(テント等購入)	プレゼント代 1,500 × 100 人 入浴物品代 6,000 × 2ヶ月 実費 レク用品代 10,000 × 2 × 12ヶ月 園芸用品代 50,000 310 × 30 100,000 116,500	9,300	150,000 12,000 240,000 50,000 100,000 116,500	677,800
				合計	829,340	907,940	1,737,280

あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所

自立支援を念頭におき、心身の機能の維持回復を図る通所リハビリテーションの役割を踏まえ、住み慣れた地域や自宅で継続した生活が送れるよう支援を行っていく。

また、在宅生活を支えている家族の気持ちを大切に、双方が安心して生活を送ることができるよう務めていく。

《重点推進課題》

1. 自立支援を目指した取り組み

通所リハビリテーションとしての役割を踏まえ、現在行っているサービス内容を見直し、室内の環境を整え、さらなる自立支援を目指したケアを実施する。

【指標・評価方法】

- ①機能の維持回復を念頭にデイルーム内の環境を見直し、利用者自身が考え、興味を持って身体を動かす活動や生活リハビリができるような工夫・改善を行う。
- ②サービス担当者会議にて利用者の自宅での生活状況、役割を再確認し、家族の意向も伺い、個々の利用者の状態を通所職員全体で共有し、利用者が行う小さな動作も大切に、介護の内容・方法について過剰介助を行っていないかを随時見直していく。
- ③送迎、入浴、食事などの日々の場面に対して3ヶ月の間で1つ議題を選び、生活リハビリの観点を持ち、集中的にその議題についての改善点を話し合い、サービス内容の見直しを行う。

年 間 会 議 予 定

月	会議予定(開催日)	対象職員	会議予定(開催日)	対象職員
通年	デイケア会議(第3木曜日)	デイケア職員	感染予防委員会(第1水曜日)	担当職員
	リハビリカンファレンス(随時)	デイケア職員	新人教育委員会(第2月曜日)	担当職員
	サービス担当者会議(随時)	支援相談員・正職員	医療事故防止委員会(第3水曜日)	担当職員
	施設内研修(第4水曜日)	デイケア職員	接遇向上委員会(第4月曜日)	担当職員
	幹部会議・主任会議(10日以降で設定)	通所主任・通所副主任	研修委員会(第4火曜日)	担当職員
			防災委員会(不定期開催)	担当職員

年 間 行 事 予 算

(単位:円)

月	行事名	内 容	費 用	内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月						0	0
5月	園芸活動	苗植え (きゅうり、ミニトマトなど)	4,000 × 1	肥料		4,000	
	昼食行事(金曜限定15日)	利用者・職員と一緒に食事を楽しむ(開設行事)	6,000	苗	20,000	6,000	30,000
6月	外出行事	外食・外出を行う	10,000	付き添い者食事補助	10,000		
	園児との交流	地域の子供との触れ合い				0	10,000
7月	第16回夏祭り	ロータス音更との合同で実施	10,000	飾り付け等の備品		10,000	
			90,000	レンタル備品等		90,000	
	昼食行事(月曜日限定)	利用者・職員と一緒に食事を楽しむ	300 × 30人	通所者食事代	9,000		
	外出行事	外食・外出を行う	500 × 10人	ボランティア食事代	5,000	20,000	
	園児との交流	地域の子供との触れ合い	10,000	付き添い者食事補助	10,000		144,000
8月						0	0
9月	敬老週間	敬老を祝う	1,500 × 12人	各種表彰 (2020.2.10現在)		18,000	
				喜寿(昭和18年) 3人 米寿(昭和7年) 7人 白寿(大正10年) 2人 高齢者 0人			
	昼食行事(火曜日限定そば打ち)	利用者・職員と一緒に食事を楽しむ	10,000	ボランティアお礼等	20,000	10,000	
	園児との交流					0	48,000
10月	運動会	利用者・職員共に運動会を行う	15,000	物品費	15,000		
	園児との交流	地域の子供との触れ合い				0	15,000
11月	昼食行事(土曜日限定)	利用者・職員と一緒に食事を楽しむ			20,000		20,000
12月	Xmas&忘年会		200 × 180人	ケーキ代	36,000		
			500 × 90人	プレゼント		45,000	
	変わり湯週間	雰囲気の違いお風呂を提供する(ゆず湯)	20,000	飾り付け		20,000	
			20,000	ボランティアお礼等		20,000	121,000
1月	餅つき(1月6日(水))	利用者と一緒に餅つきを行う		材料費等	2,000		
	昼食行事(水曜日限定)	利用者・職員と一緒に食事を楽しむ			20,000		22,000
2月							0
3月	昼食行事(木曜日限定)	利用者・職員と一緒に食事を楽しむ			20,000		
	スライドショー	1年間の振り返りを行う	150 × 180人	おやつ代	27,000		47,000
通年	レクリエーション制作材料費		8,000 × 12ヶ月			96,000	
	誕生日プレゼント代		1,000 × 90人			90,000	
	本代(オレンジページ)(月2回)					12,000	
	本代(壮快)(月1回)					7,500	
	本代(趣味の園芸)(月1回)					6,660	
	本代(やさいの時間)(2ヶ月に1回)					5,478	
	本代(レクリエ)(2ヶ月に1回)					13,930	231,568
予備	予備費					6,000	6,000
社会福祉法人 大谷菩提樹会 おひさま保育園、木野南保育園、 鈴蘭保育園、宝来保育園 4カ所の交流は随時行っていく。(6月～10月の間)			合	計	234,000	460,568	694,568

あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

生活機能の維持・向上を目的として、リハビリテーションを行い、住み慣れた家と地域で、利用者、家族が笑顔で在宅生活を送り続けることができるよう支援する。

また「活動」や「参加」に焦点を当てた提案やアプローチを行っていく事で、利用者が主体的に日常生活活動を営む事が出来るよう支援する。

そして利用者の機能に合わせた、適切な福祉用具の選択や住環境整備の提案を行うことで、利用者が在宅生活において、最大限の能力を発揮し、生活の質の向上に繋がられるよう支援する。

《重点推進課題》

1. 継続した在宅生活への支援

利用者の機能・能力、日常生活や家屋状況を把握し、適切なリハビリテーションプログラムを立案・実行することで、安心安全な生活を送れるよう支援する。また、家族への介護指導や不安等に耳を傾けることで在宅生活をより長く継続できるよう支援する。

【指標・評価方法】

- ①医師の診察・指示のもと、利用者個々の状態に合わせたリハビリテーションプログラムを作成・実施し、心身機能の維持・向上を図る。また利用者様やご家族の希望、家屋環境についてもリハビリテーションプログラムに反映させることで、実際の生活に即した訓練を提供する。
- ②定期的に関係機関と連携し、利用者のご家族、医師、担当リハビリ職員でリハビリテーションの進捗状況の確認や今後の方針について情報共有を行う。また訪問リハビリテーションから他の居宅系サービスへの移行など現状に適したサービスへの切り替えも検討する。必要に応じて関係機関へ会議の内容を伝達し、情報共有を図る。
- ③年1回、利用者・家族へのアンケートを実施し、リハビリテーションの満足度や職員の対応、態度等について意見を聞き、今後の業務に活かす。
- ④施設行事(夏祭り)への参加案内を出し、利用者が主体的に外出できる機会を提供する。